

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	<チームでつくる介護計画とモニタリング> ケアプラン変更日が近づいてからのカンファレンス開催になりがちである。	計画立案の土台となるカンファレンスの開催日を早目に予定する。	・入居者個々のケアプラン変更日に注意し、計画立案に取り組む。 ・計画作成者同士、こまめに確認し合う。	2か月
2	45	<入浴を楽しむことができる支援> 高齢によるADL低下及び認知症の進行に伴い、安全な入浴がしづらい状況にある。	浴槽の段差が解消され、安全に入浴が出来るようにする。また、介護員の身体的負担を軽減する。	・経営者側と浴室の改築について十分話し合いをする。 ・改築困難であるとなれば、段差解消に向けた介護用品の購入検討。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。